

2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月27日

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東  
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 大越 祐史  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 濱田 仁 (TEL) 045-476-9706  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	5,057	2.8	△253	—	△208	—	△280	—
2021年12月期第2四半期	4,920	△28.4	△516	—	△419	—	△1,142	—

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 △43百万円(—%) 2021年12月期第2四半期 △884百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	△27.08	—
2021年12月期第2四半期	△101.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	18,940	12,717	65.6
2021年12月期	19,446	12,720	64.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 12,429百万円 2021年12月期 12,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.6	50	—	150	—	70	—	6.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	12,200,000株	2021年12月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	1,836,482株	2021年12月期	1,871,282株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	10,347,827株	2021年12月期2Q	11,211,601株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11
3. その他	P. 12
(ご参考資料)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (事業環境)

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、世界的な半導体部品等の供給不足や、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とするエネルギー価格の高騰、急速に円安傾向となっている為替相場の影響、さらには中国における上海のロックダウン長期化による物流等への影響など、引き続き先行きが不透明な状況が継続しました。

## (受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、受注高は5,869百万円（前年同期比4.6%増）となりました。一部に回復の傾向も見られますが、依然としてお客様の設備投資に対する姿勢は慎重であり、回復は緩やかであります。

売上高は、5,057百万円（前年同期比2.8%増）となりました。前連結会計年度からの受注残高が大きく増加していましたが、特注試験装置において部品供給不足により売上予定であった案件が先延ばしとなったこと、また上海でのロックダウンの影響等により出荷・売上が出来なかったこと等により、計画した売上高には及びませんでした。これらの結果、受注残高は5,957百万円（前年同期比34.0%増）と、大幅な増加となりました。

## (損益の状況)

損益面では、営業損益は253百万円の損失（前年同期は516百万円の損失）、経常損益は208百万円の損失（前年同期は419百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は280百万円の損失（前年同期は1,142百万円の損失）となりました。

生産の効率化に向けた取組みなどを継続したことから、売上原価率は52.4%（前年同期は56.1%）と改善することができました。原材料価格の上昇があるものの、販売価格の適正化に努めております。販売費及び一般管理費は、研究開発費が部品の長納期化に対応した設計変更を含め、99百万円増加する一方、減価償却費が減少したほか、全体的な費用の見直しを進めました。このように費用圧縮等による収益性の改善がなされたものの、売上高の不足により、損失の計上となりました。

なお、当連結会計年度より、収益認識に関する会計基準等の適用を行っております。これによる影響額はP10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

当社グループでは、大きく変化する事業環境に対応し、更なる成長を遂げ、また当社グループが描くビジョン(ありたい姿)を実現するため、新中期経営計画「Challenge StageⅢ」を策定いたしました。本中期経営計画におきましては、コロナ禍によって大きな影響を受けた業績の回復を目指し、「事業再生」の方針を掲げて推進いたします。詳細につきましては、2022年1月28日公表の「中期経営計画「Challenge StageⅢ」策定に関するお知らせ」をご参照ください。(当社ホームページ<https://www.onosokki.co.jp>)

セグメント別の業績は、次の通りであります。

## &lt;計測機器&gt;

「計測機器」は、受注高は1,968百万円（前年同期比2.0%減）、売上高は1,913百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント損益は49百万円の損失（前年同期は225百万円の損失）となりました。

回転速度分野、寸法変位分野など生産ライン関連商品や、音響・振動関連のセンサ類、半導体製造ライン向けの厚さ計等が好調に推移しました。一方、データ処理分野におきまして、受注の鈍化がみられました。これは、部品の長納期化等を踏まえ、昨年度中に発注の前倒しなどがあった反動と考えております。また、上海でのロックダウンにより当地域向けの出荷・売上が出来ない等の影響が生じました。

## &lt;特注試験装置及びサービス&gt;

「特注試験装置及びサービス」は、受注高は3,895百万円（前年同期比8.4%増）、売上高は、3,138百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント損益は203百万円の損失（前年同期は290百万円の損失）となりました。期首受注残高が大きく増加していましたが、半導体等の部材の供給不足に伴い、売上予定であった案件が先延ばしとなるなど、影響が生じております。その結果、受注残高は前年同期比33.5%増とさらに積み上がりました。

なお、修理・校正などのアフターサービスや受託試験などのエンジニアリング領域は、堅調に推移しております。

## &lt;その他&gt;

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は78百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は14百万円（前年同期比19.3%増）となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は6百万円（前年同期比2.9%増）であります。

（参考）セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

## 受注実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	2,009	1,968	△40	△2.0
特注試験装置及びサービス	3,594	3,895	301	8.4
その他	77	78	1	1.4
（調整額）（注）1	△71	△72	△0	—
合計	5,609	5,869	260	4.6

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 売上実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	1,863	1,913	49	2.7
特注試験装置及びサービス	3,050	3,138	87	2.9
その他	77	78	1	1.4
（調整額）（注）1	△71	△72	△0	—
合計	4,920	5,057	137	2.8

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 営業利益実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	△225	△49	176	—
特注試験装置及びサービス	△290	△203	86	—
その他	12	14	2	19.3
（調整額）（注）1	△12	△14	△2	—
合計	△516	△253	263	—

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は18,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ505百万円減少しました。主な内訳は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の減少、投資有価証券の取得及び時価評価による増加であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ501百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金の減少であります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は12,717百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ129百万円増加(6.4%)し、2,156百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、875百万円の収入(前年同期は331百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失201百万円、減価償却費263百万円、売上債権の減少額943百万円、仕入債務の減少額156百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、220百万円の支出(前年同期は87百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出126百万円、投資有価証券の取得による支出76百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、629百万円の支出(前年同期は763百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額600百万円、長期借入金の返済による支出28百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、2022年1月28日公表の業績予想を下回りました。受注は回復傾向にあるものの、特注試験装置において部品供給不足により、売上予定であった案件が先延ばしとなったこと、また上海でのロックダウンの影響等により出荷・売上が出来なかったこと等により、売上高、利益ともに業績予想を下回ることとなりました。

また、通期連結業績予想につきましては、下期においても部品供給体制の混乱が続く事が想定され、当社においても、期首の見込み通りの生産、出荷、売上が出来ない懸念があることから、下方修正することとし、2022年7月22日に開示いたしました。

今後につきましては、新規受注の獲得に注力するとともに、販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、通期予想の達成に傾注してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,026	2,156
受取手形及び売掛金	2,214	1,488
商品及び製品	501	514
仕掛品	1,082	966
原材料及び貯蔵品	842	946
その他	186	204
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	6,848	6,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,503	3,414
土地	6,743	6,743
その他（純額）	608	616
有形固定資産合計	10,855	10,775
無形固定資産	239	230
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115	1,278
繰延税金資産	10	11
その他	376	373
投資その他の資産合計	1,503	1,664
固定資産合計	12,598	12,669
資産合計	19,446	18,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411	264
短期借入金	3,000	2,400
1年内返済予定の長期借入金	28	500
未払法人税等	64	57
賞与引当金	61	88
その他	585	840
流動負債合計	4,152	4,151
固定負債		
長期借入金	500	—
退職給付に係る負債	1,955	1,894
繰延税金負債	10	73
その他	107	104
固定負債合計	2,573	2,072
負債合計	6,725	6,223
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	4,668	4,380
自己株式	△1,342	△1,317
株主資本合計	12,260	11,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	300
為替換算調整勘定	14	133
退職給付に係る調整累計額	△7	△2
その他の包括利益累計額合計	197	431
新株予約権	166	188
非支配株主持分	96	99
純資産合計	12,720	12,717
負債純資産合計	19,446	18,940



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,920	5,057
売上原価	2,760	2,652
売上総利益	2,159	2,404
販売費及び一般管理費	2,676	2,658
営業損失(△)	△516	△253
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	59	25
受取保険金	—	14
雇用調整助成金	57	3
賃貸収入	7	9
その他	12	16
営業外収益合計	138	71
営業外費用		
支払利息	16	10
売上割引	10	—
支払手数料	7	4
賃貸収入原価	3	3
その他	4	7
営業外費用合計	42	26
経常損失(△)	△419	△208
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△420	△201
法人税、住民税及び事業税	29	18
法人税等調整額	677	68
法人税等合計	707	87
四半期純損失(△)	△1,127	△288
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,142	△280

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,127	△288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	110
為替換算調整勘定	38	130
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	243	245
四半期包括利益	△884	△43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△898	△46
非支配株主に係る四半期包括利益	14	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△420	△201
減価償却費	402	263
株式報酬費用	40	41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	△56
受取利息及び受取配当金	△60	△27
支払利息	16	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	536	943
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7	23
仕入債務の増減額 (△は減少)	8	△156
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△161	98
その他	△89	△65
小計	288	890
利息及び配当金の受取額	60	27
利息の支払額	△16	△11
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1	△31
営業活動によるキャッシュ・フロー	331	875
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△60	△126
無形固定資産の取得による支出	△15	△47
投資有価証券の取得による支出	△1	△76
投資有価証券の売却による収入	—	26
その他	△9	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87	△220
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	△600
長期借入金の返済による支出	△207	△28
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	0
配当金の支払額	△55	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△763	△629
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△484	129
現金及び現金同等物の期首残高	2,843	2,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,359	2,156

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる販売手数料や報奨金及び営業外費用に計上しておりました売上割引を売上高から控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従来の方法と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は19百万円減少、販売費及び一般管理費は7百万円減少、営業損失は12百万円増加、営業外費用は11百万円減少、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ0百万円増加しております。また、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いにより利益剰余金の当期首残高は2百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,863	3,050	4,914	5	4,920	—	4,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	71	71	△71	—
計	1,863	3,050	4,914	77	4,991	△71	4,920
セグメント利益又は損失(△)	△225	△290	△516	12	△503	△12	△516

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,913	3,138	5,051	6	5,057	—	5,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	72	72	△72	—
計	1,913	3,138	5,051	78	5,129	△72	5,057
セグメント利益又は損失(△)	△49	△203	△253	14	△238	△14	△253

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

この結果、従来の方と比較して、「計測機器」セグメントで売上高が19百万円減少し、セグメント損失が12百万円増加しております。

## 3. その他

(ご参考資料)

(主要な経営指標等の推移)

(経営成績)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/6	2021/6		
受注高(百万円)	13,346	13,308	9,983	11,241	5,869	5,609	260	4.6
売上高(百万円)	14,440	13,034	11,841	9,852	5,057	4,920	137	2.8
営業利益(百万円)	962	454	△566	△859	△253	△516	263	—
売上高営業利益率(%)	6.7	3.5	△4.8	△8.7	△5.0	△10.5	5.5	—
経常利益(百万円)	1,032	499	△523	△685	△208	△419	211	—
売上高経常利益率(%)	7.1	3.8	△4.4	△7.0	△4.1	△8.5	4.4	—
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	692	357	△576	△1,271	△280	△1,142	862	—
売上高当期純利益率(%)	4.8	2.7	△4.9	△12.9	△5.5	△23.2	17.7	—
自己資本利益率(%)	4.7	2.4	△4.0	△9.6	△2.3	△8.4	6.2	—

(財政状態)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前期末比増減額	前期末比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/6	2021/6		
資産合計(百万円)	20,980	22,043	20,807	19,446	18,940	19,031	△505	△2.6
負債合計(百万円)	6,231	6,938	6,596	6,725	6,223	5,719	△501	△7.5
純資産合計(百万円)	14,749	15,104	14,211	12,720	12,717	13,311	△3	△0.0
自己資本比率(%)	69.6	67.6	67.3	64.1	65.6	68.6	1.6	—

## (キャッシュ・フロー)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/6	2021/6		
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,901	208	1,879	△498	875	331	543	164.2
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△484	△765	△1,303	△2	△220	△87	△132	151.9
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,224	394	317	△374	△629	△763	134	△17.6
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	2,138	1,967	2,843	2,026	2,156	2,359	△202	△8.6

## (1株当たり情報/その他)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/6	2021/6		
1株当たり純資産額(円)	1,308.01	1,333.93	1,249.35	1,206.19	1,199.32	1,164.02	—	—
1株当たり当期純利益金額(円)	61.57	32.03	△51.43	△114.67	△27.08	△101.88	—	—
設備投資額(百万円)	500	877	1,136	235	169	110	58	53.2
減価償却費(百万円)	758	787	824	798	263	402	△139	△34.6
研究開発費(百万円)	1,329	1,326	1,476	1,176	667	567	99	17.6

## セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q
受注高	計測器	706	913	953	1,087	921	901	1,181	1,023	944
	特注試験装置	1,788	1,256	1,538	1,328	2,265	1,725	1,818	1,481	2,414
	その他	39	38	39	37	39	38	39	37	40
	合計	2,499	2,172	2,495	2,418	3,190	2,629	3,002	2,506	3,363
売上高	計測器	707	756	1,017	1,069	793	913	988	1,205	707
	特注試験装置	2,298	1,243	1,941	1,624	1,425	1,231	1,792	2,188	950
	その他	39	38	39	37	39	38	39	37	40
	合計	3,009	2,002	2,962	2,696	2,223	2,148	2,784	3,395	1,661
受注残高	計測器	402	559	495	513	640	628	821	638	876
	特注試験装置	3,650	3,664	3,261	2,965	3,804	4,297	4,323	3,616	5,080
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,053	4,223	3,756	3,478	4,445	4,926	5,145	4,255	5,957
営業利益	計測器	△327	△262	△14	6	△232	△80	△3	162	△212
	特注試験装置	△111	△298	144	31	△321	△281	22	273	△476
	その他	4	3	6	5	6	8	7	6	7
	合計	△441	△560	130	36	△553	△361	17	434	△687

## 前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q
受注高	計測器	△326	△402	△269	36	214	△12	228	△64	23
	特注試験装置	△908	△1,043	514	△434	476	468	279	152	148
	その他	△1	△1	0	△0	0	0	△0	0	0
	合計	△1,234	△1,445	246	△397	690	456	506	87	173
売上高	計測器	△165	△375	△452	△54	85	156	△28	135	△86
	特注試験装置	1,160	△81	△988	△1,115	△872	△11	△148	563	△475
	その他	△1	△1	0	△0	0	0	△0	0	0
	合計	994	△457	△1,439	△1,169	△786	145	△178	698	△561
受注残高	計測器	△174	△164	18	110	238	69	326	125	235
	特注試験装置	△2,416	△3,378	△1,876	△1,195	153	633	1,062	651	1,276
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	△2,591	△3,543	△1,857	△1,084	392	703	1,388	777	1,512
営業利益	計測器	△72	△281	△280	47	95	182	10	156	19
	特注試験装置	367	△91	△304	△315	△210	16	△121	241	△155
	その他	△1	△0	2	5	2	4	1	1	0
	合計	292	△373	△583	△268	△112	199	△112	397	△134